

このたびは、当社の製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

末永くご愛用頂くために、下記の取付け取扱い説明をよく読んで正しくご使用頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。



取付け上のご注意



- * 屋上や高い壁面の上など、商品が落下した場合にケガをする可能性のある高所には設置しないでください。
- * お子様がぶつかってケガ等の事故につながる場所への設置はしないでください。
- * 取付け作業は、施工業者等のプロにお任せすることをお勧めします。
- * お客様が、取付け中に破損された商品につきましては、商品のお取り替え等の措置は出来かねますのでご了承ください。
- * 不安定な場所に設置しないでください。
- * 振動、衝撃のある場所や、もろい素材でできた壁面には設置しないでください。
- * 取付け中に手を挟まないようご注意ください。
- * ボード、中空壁への取り付けは、専門業者にご相談の上、専用のプラグ・木ネジをご使用ください。
- * パネルに使用しているシートやファブリックは、屋外用として製造されていますが、屋外では紫外線、風雨、ほこりなどによる影響を受けて、経年変化(色の変化)の発生、商品の劣化や汚れの付着が起こります。また商品を設置される環境、ご使用方法等で商品の寿命も大きく変わります。素材の特性や機能をご理解の上、設置箇所をご確認ください。



使用上のご注意



- * 上に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。
- * 分解、改造は行わないでください。
- * 急激な荷重や衝撃を与えないでください。変形、破損、落下する恐れがあります。
- * 商品の切断面は、安全に配慮し処理を施していますが、ケガをする場合がありますので充分ご注意ください。
- * この商品は壁面より約11cm手前に突き出ますので、危険の無いよう取付け環境には充分ご注意ください。
特にお子様がぶつかる危険のないよう、ご留意ください。
- * 本体は焼付け塗装を施しておりますので、屋外での使用には耐えますが、摩擦や引っ掻きなどにより塗装面が傷つくことがあります。
- * 商品を壁面に取付け、取り外す際には、壁面に傷・汚れがつかないように充分ご注意ください。
- * 環境条件等により、塗装面に変色・シミ・サビ等が生じることがあります。

ご使用方法

3〜4号鉢、約直径9〜11cm以下のポリポットに植えられた植物が程良く納まるプランターです。
お気に入りの観葉植物を楽しく自由にフレーミングしてご活用ください。

- * ポリポット等に植えられた植物を飾る際は、必ずポットごと入れてご使用ください。
- * 水受け皿が必要な場合は、市販の水受け皿を別途ご使用ください。
- * 商品が金属製の為、屋外の直射日光が当たる炎天下では、非常に温度が高まる可能性があります。暑さに弱い植物は夏場のセッティングをお控えください。
- * ポリポットと商品とのすき間が気になる場合は水苔を入れると、温度と湿度の調整にも役立ちおすすめです。

お手入れ方法

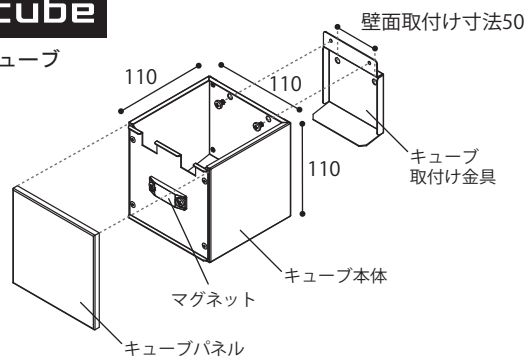
- 本体…砂ぼこり等の汚れは、水で薄めた中性洗剤を布にしみ込ませてお拭き取りください。
最後に、水で湿らした布で軽く拭いてください。
- パネル…軽い汚れの場合は、やわらかい布、スポンジで水拭きした後、優しく乾拭きしてください。
強くこすると、布目やシートに汚れがすり込まれてしまうことがありますのでご注意ください。
- * 研磨剤入りのクレンザー等は、本体表面に傷をつける恐れがあるため使用しないでください。
- * シンナー、ベンジン、ワックス、石油、塩素系溶剤等は脱色の恐れがあるため使用しないでください。
- * 殺虫剤、ガラスクリーナー、ヘアスプレーなどをかけないでください。

本体

単位：mm

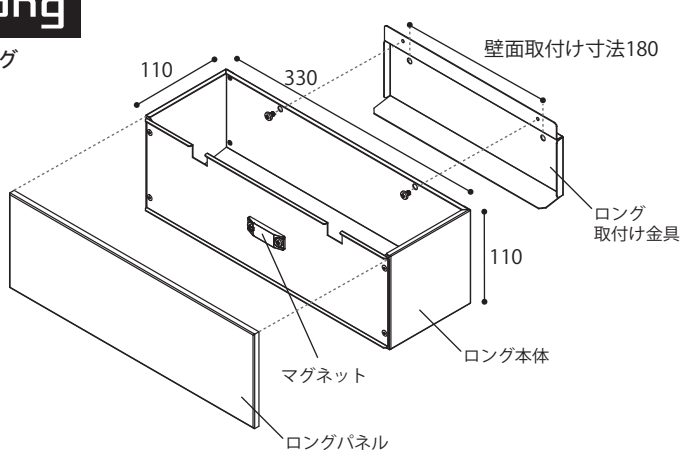
cube

キューブ

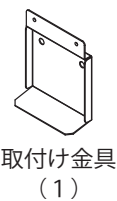


long

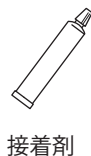
ロング



付属品



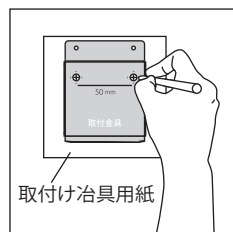
取付けに必要なもの



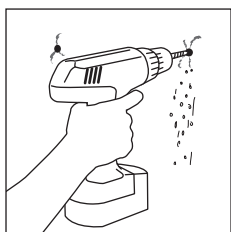
※ドリルと接着剤は壁面にあった種類ものをご準備ください。

取付け方法

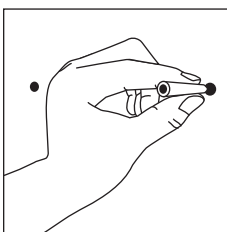
- ①壁面への取付け位置を決め、付属の「取付け治具用紙」をあてがい、取付け穴位置をペン等で壁面に印をつけます。
- ②印を付けた位置にドリルで穴をあけます。(直径8mm程度、深さ45mm程度)
- ③穴の中のゴミと外の削りカスを取り除いた後、あけた穴に接着剤を入れ付属のプラグを奥まで差し込みます。
- ④取付け金具をあてがい、木ネジにワッシャーを通しドライバーでプラグにねじ込みます。
- ⑤ハコトコ本体のパネルを外し、取付け金具とハコトコ本体背面の穴2箇所を合わせ、小ネジをドライバーでねじ込みます。
(※パネルはマグネットで留まっていますので、手前に引くと外れます。)
- ⑥本体手前下部にあるツメをパネルでかぶせるようにして、マグネットですっかりとパネルを装着して完成です。



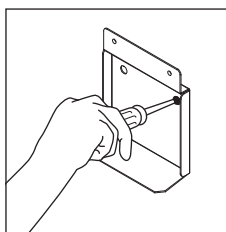
①



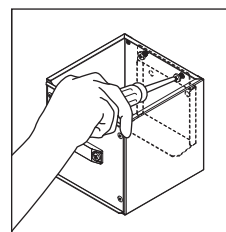
②



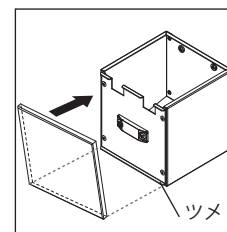
③



④



⑤



⑥